（十七日夕刊）

磐城新聞

休刊 大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢）
廣告料（雑報欄行五十錢 場所指定二十錢増）
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

蛇の生殺しは不可
徹底的に葬り去れ

物事の不徹底に終るを「蛇の生殺し」と云ふ。蛇は生殺しにして置くと必ず祟るものだ。苟くも殺す以上は飽迄之を徹底的に鏖殺して二度と再び蘇生せぬやうにせねばならぬ。然らざればその結果は却て從前よりも恐るべきものがある。

今回共産黨の大檢擧は日本の歴史あつて以來實に空前の一大不祥事である。大正十二年に難波大助ので一世を驚かしたが、今度は夫れどころの騒ぎでない。遙かに大仕掛の大逆的陰謀だ。僅々數年間にこの驚くべき大變化を見る帝國の將來決して油斷は出來ないと覺悟せねばならぬ。

◇然も我輩の驚きは檢擧その物の異常的なる光景よりも、寧ろ之に對する國民精神の異常的なる墮落である。若し新聞に現はるゝ世評が假り輿論であるとせば彼等は尊嚴無比の我國體と普通一般の社會制度との區別をさへ知らないのだ。堂々たる最高司直の任に在る小山檢事總長すら「社會制度に缺陷があるからこんな事件が起つた。此缺陷を直さない限り今後も續々起るに相違ない」と云つて居る何と云ふ驚くべき不謹愼の言である乎。

◇社會制度に缺陷あらば充分に之れ匡正して可なりだ。階級打破、財産平均！此等はすべて相對的案件である。飽迄之を研究するが宜しい。然しこの缺陷あるが爲め我國體の破壞を企つる者が續々出ると云ふに至つては實に沙汰の限り暴論と謂はねばならぬ。我國體は絶對的である神聖無比である。一切の論議を超越したる問題である。苟くも司直の任に在る者がかゝる不逞漢を寛假するが如き口吻を洩らすは全く以て言語道斷、こんな男が居るから所謂蛇の生殺しが出來るのだ。

◇水野文相が強硬に罷免を要求すと稱せらるゝ赤化教授は東大京大各一名宛だと云ふは果して眞乎。是れ亦驚くべき蛇の生殺しではない乎。彼れだけの大量生産がタッタ一人位の力で出來たとは常識を以ても考へられない。若しその他は直接事件に關係がないからと云ふならば夫こそ途方もない考へ違ひだ。直接事件に關係あらば罷免位で濟むもんでない。早速フン縛って刑務所に叩き込まねばならぬ。之は當然の話だ。

◇直接事件に關係なく共んな不良兒を澤山に養成した教授が、若し不用意にあつたとすれば彼等は全然無能漢ではない乎。教育家としての價値は何處にある。此奴等こそ即ち罷免に値するのである。而して此種の教授は決して二人や三人ではない。まだ／＼深山に在ると世間は睨んで居る。宜しく大英斷を以てその一切を掃蕩せよ、蛇の生殺しは斷じて禁物である。

花十句
小川鄕 吉岡獨步

△新川堤にて
可惜この花しでこの水濁る
心あらば花や泣くらん鐵氣水
清からば隅田に擬せん花の川

△松ヶ岡公園
十重二十重奇術師圍む花の中
誰が子ぞ妓を侍らせて花に醉
四阿に横はる花の餅か那
△花す勺つゝき
期せざりし人近づきぬ花の中
絃歌湧く旗亭の花に暮れゆとき

△子鍬倉神社にて
燈一入りて亦一人や遠櫻

△大越中佐銅像
軍神の花に背きて嘯ぶけり

明日の吉凶
舊曆二月廿八日 新曆四月十八日

▲一白 手足纏ひを生じ無駄に時刻を費すこと多し ▲二黒 朝の内は手間どるとも追ひ／＼馴れて捗るべし ▲三碧 身を守ること堅實なれば發展の域に入るべし ▲四綠 氣を和げ長者を敬すればその引立てを受く ▲五黃 階段を昇るが如く秩序正しく徐々に進むべし ▲六白 目下の爲に失費あるも後日返り來るべし ▲七赤 身体さへ健全なれば他に變ることなき日 ▲八白 進むにも退くも氣を落付け注意せよ ▲九紫 常業には吉なれどばなれぬ事には凶と知るべし

講談 闇に閃く男達 (65)
高田涙川作 尾崎雪應畫

新吉の談判

友造は親分の前へ頭を下げてゐる

「この野郎ッ、なんてねぢじをしやアがるんだッ」

新吉は友造の横ッつらを五つ六つくらわした

「痛いッ……どうか新吉の兄貴、御勘辨を……」

友造は顔をしかめて、あやまるより他はなかつた

「ヤイ／＼新吉、手荒いことをするちやアねえ、できことア仕方がねえ己がきぬを出したのが惡かつたのだ、もしかとの懸念もあつたが、よもやそんなけちなことはすまいと思つてゐたのが、こつちの不覺だ、しかし友造、相手はどいつだい」

「ヘエーあつちらにかゝつて來たは四人の浪人おきぬさんをかついで行つたのはたしかに源氏車の小兵衛に違ひございません」

「フム……ヨシ新吉それぢやア手めえ氣の毒だが明日の朝になつたら若え者を四五人つれて一つ小兵衛に逢つて無事に返すか返されるか聞いて來てくんねえ」

「へえ、承知いたしやした、しかしわけわけ者をつれて行つては却つて手足まとひになりますから、わつち一人で乘り込みグズ／＼ぬかせア、のるかそるかの一大勝負きつとどらちをあけてめえります」

「いけねえ／＼、けんくわをするならいつでも出來ることだ、決して手荒いことをするちやねえ、今己の相談相手といやア手めえ一人だ、それがムザ／＼犬死して呉れてどうなる、いよ／＼けんくわとなりやア高が源氏車に助勢するはいから片っぱしから叩き切つてしまうまでだ、明日はたゞ様子を探り相手の返事をきゝたとなしく歸つて來てくんねえ」

「へえ、心得ました」

總ての打合せをすました

「それぢや親分これから行つてめえりやす」

翌朝新吉に支度して藤兵衛にあいさつした

「オ、新吉、御苦勞だ昨夜もいつた通り決して手出しはしちやアいけねえぞ、これだけは／＼も言つておくぞッ」

「よゝ飲み込んで居ります」

長いやつを腰にブチ込み新吉は鶴見へ來た

「ごめんねえ……」

小兵衛の宅へ案内を乞ふ

「オ、大森の新吉兄貴か」

子分の一人が取次に出た

「大多福新吉が小兵衛親分に用事があつて來たのだ、そういつてくんねえ」

「ナニ新吉が出て來やがつたか、こちらへ通してくれ」

知らせを聞いた小兵衛は子分に命じた

「サア兄貴、どうぞこつち」

新吉に物をも言はす長わきざしを左の手にさげ案内につれて奥の一室へ通る、そこには源氏車小兵衛その他わきには泣き入るおきぬ、両脇には四人の浪人に立重つた子分四五名が控ね酒宴の最中であつた

新吉はオメす臆せすグット四方を睨み廻した

「たゞ今前は新吉どの……」

座敷へ入つて來た新吉の姿を見てきぬは馳け出し行かんとした

「ヤイおきぬ、手めねはどこへ行くんだ、手めねの親と己れと相談でやろう貰ふと約束し、女房に貰つた手めねだジタバタすると承知しなねそッ、オゝそこへ來たのは大森の新吉か何用あつて來たのだ、定めし結納でも持つて來たのか」

小兵衛は尊大に構へ、新吉に言葉をかけた

「イヤ、その結納は持つて來ねえが、不足の言葉は澤山持つて來た、その不足は言はねえ代り、換ねてもらへてねものがある、その相談にわざ／＼やつて來ました」

廣告

心配ゴ無用！

ドンチに惡性頑固な慢性淋病も本剤の強烈な殺菌力で尿道の奥深く侵入せる淋菌を見事に滅殺しウミも痛みもケロリと治癒す 今すぐ御服用を……
淋病最新藥 トリックス
輕症用 一圓・二圓 重症用 三圓・五圓・十圓（拾五錢郵税十二錢）
（說明書三錢郵券封入贈呈す）
平町五丁目角 特約店 山野邊藥局

吉田眼科醫院

◇阪東妻三郎主演期待名篇遂に完成◇ 森靜子・志賀晴郎助演

十九日替り 春季三大名映畫公開
日活スポーツ海上大活劇 淺岡信夫 岡田嘉子 主演
正義の強者
神戸播磨造船所大後援 無人の豪男兒、鐵腕、獅子奮迅の大活躍見よ!!!破天荒の大活劇を
日活超特作品 松本泰輔入社第一回作 梅村蓉子努力主演
女三面相の内 千姫 全
魅惑的な瞳と唇、蠱惑的な肉性美豊醇なる敍情詩 飽く迄奇緣宿命邪淫と逸樂に呪はるゝ人類大懊惱の繪卷物
御觀覽料 特に普通（木曜日替り） ◇土曜日日曜日 學生デー
◇大日活 大松竹 映畫大殿堂
高級常設 平館 電（四六六）

新築移轉
耳、鼻、咽喉科
場所（舊診療所裏通り）
合津醫院
平町仲田町七一 電話五五九番

女中さん入用
御料理 平、新田町 喜柳 電話二一〇番

てがる食堂 田町五七
めし之部
天丼 二十錢
牛めし 十錢
親子丼 三十錢
丼めし 八錢
さかな之部
天ぷら（一人前）二十錢
煮肴 十錢
櫻なべ 十五錢
牛なべ 二十五錢
肉煮込 五錢
味噌汁 二錢
湯豆腐 五錢
味噌豆腐 五錢

上酒（一本）二十錢
コップ酒 十錢
ウヰスキー一パイ 十錢
かけそば 五錢
かけうどん 五錢
牛どんぶり 十錢
天ぷらそば 十五錢
なべやきうどん 十二錢
洋食
ライスカレー 十五錢
カツレツ 十五錢
チキンライス 二十五錢
やきめし 十五錢

（品質本位）
最新式室内カーテン
カフエーエプロン、コツク服
理髪用白着、廣告用旗、造花
十字屋
小西元次郎
石城郡平長橋町三〇

可愛いゝお子様の
通學用防水マントの大特賣！
男子用 一、五〇ヨリ 二、六〇マデ
女子用 一、六〇ヨリ 二、七〇マデ
あかや洋服店
平二丁目（電二〇三）

ユラノスケ瓶詰
花見時の特價
空瓶交換のレッテルをはらずに
四合瓶詰 一本 四十三錢
二合瓶詰 一本 二十二錢
大口の御注文はなるたけ前日迄に御申付下され度
永山酒造店小賣部
瓶詰出張販賣所
電話二〇七番

開店御披露
今度皆様の御勸めにより料理店を開業致しました
美味、廉價、迅速
御來客様に御滿足を與へんが爲朝鮮美人數名が歌舞を以て御接待致します
朝鮮 支那 西洋 料理
平町研町一二 高麗亭 電話呼出七五〇番

櫻は公園!!
呉服は三井
春衣新柄特製品
宣傳賣出し
お花見手拭 別染一本 金八錢
お花見足袋 黑朱子 金三十錢 白キヤラコ 金二十錢
新館階上階下にあらゆる春の新柄ご京人形が陳列されて居りますから何卒御覧下さい
平町 三井呉服店
電話（三十八・七百五十一）番

片濱自動車運轉
平、高久、豐間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…二一七番 一四二番（御三人以上はお迎ひに參上致します）
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木 片濱自動車商會

季節向御料理大勉强
愈々公園の節
廉賣 親切 叮寧 第一
松ケ岡公園地ノ端
割烹 ときわ
電話二二六番

殖えるとも〳〵

平町のチブス

けふも四名を隔離して

收容者三十四名

平町の花見時に折惡しい惡疫の流行には花柳街は勿論花見を當て込んでゐる各方面共に相當の痛手を被つてゐるが平町では去月十三日中窪村に天然痘が發生して以來既に一ケ月餘の今日天然痘は全く終熄したが腸チブスが替つて猛威を振ひ當局では極力此れが豫防に全力を擧げてゐるが腸チブスの猛威は更らに衰ひる氣配も見ねず昨十六日には花柳街新田町の福清方抱藝妓君丸事新妻フミ(二〇)が眞症腸チブスと確定し今十七日に至り平町三町目山田秀雄(三三)二町目松原ユウ(二九)四町目鈴木圭二(三ツ)同人の母鈴木アキ(四〇)の四名が各れも眞症腸チブス患者と決定し直ちに隔離病舍に收容したが去月十七日に腸チブス患者が發生してから丁度一ケ月の今日までに實に三十四名を數へ中三名が死亡したので現在隔離舍には三十一名收容されてゐるが僅九室の病舍は既に收容し切れず事務室や毒室は勿論小使室等まで病室に當てゝゐる狀態で明十八日までには臨時病舍が竣工する筈であるが町當局では諸負人を督勵して工事の進捗を促してゐる

醬油業視察

山崎氏外縣外へ

石城郡醬油味噌同業組合では昨年度の總會にたいて縣外視察の件を附議決定してあつた右に基き山崎與三郎、小野園次郎、赤津庄兵衞、松崎長太郎、叶多清、鈴木久太郎、赤塚九郎、新妻牛藏の諸氏はこの程會津方面より近縣の視察を了し十五日歸郡した

戸數割の未納者

納千人に達す

愈々用捨なき處分に附す

平町の納入成績

平町に於ける昨年度下半期特別稅戸數割四萬七千六百十一圓廿五錢に對する納入期及び猶豫期間も過ぎ去つた今日末納者は猶ほ千人金額五千圓を數へてゐるで町當局では係吏員を督勵し整理に努めてゐるが愈々近く全未納者に對し最後の手段たる強制徵收を爲す事となつたが本年の末納率八分は例年に比し頗る好成績

割腹する迄で

川部村の園部武が

酌婦より藝妓へ

分別盛りの四十男の失戀の果ゐ淺ましさ、消防組頭までなした村の名望家が捨てられた藝妓への悲憤やる方なく一人心中をなした哀れな物語りの

主人 公岡部武（假名四三）は曾ては模範青年として郷黨からの賞者であつた、川部村の資家には老父母と妻と七人の子供の大家族が各新聞に傳へられた父の自殺の報に悲歎に暮るゝと共に世人への顏向けもならず懊惱の日を送つてゐる。武は田舍には中以上の可成な財產家に生れた、實直な利口者として文字通りな農村模範青年であつた、彼の德望と財產との背景とは忽ちにして各種團体の主腦者たらしめ四十ならずして早くも消防組頭の職に就いた自分も飲み部下にも飲ませねば幅のきかぬ組頭の事だ彼は漸く

酒 の 甘さを知つた不惑の年に入らんとして漸く脂粉の女のいとしさを知つたのであつた、自宅から里離れた川部村の郡小川の里、鮎漁に其の名現るゝ流れも清き四時川の畔の料亭梅下に夜な〳〵通ふ彼の姿を見るやうになつた、借財は殖ねる、女への他の客脚は遠退いて行く、馴染の酌婦は遂に遠く鞍替させられてしまつた、されど中年にして紅燈の下の酒と女を知つた彼の心は家庭には戻らなかつた植田町での消防組頭會の懇親會に若々しい藝妓梅太郎(三〇)を知つてから去りし

酌婦 戀しさの餘情醒めきらぬ彼の心はぐん〳〵と引つけられて行つた、梅太郎は決して美人ではない、眼のギョロッとした背の小さい寧ろ中以下の藝妓である、彼の女は昨年七月植田町新油屋に鞍替して來たばかり、新妓で馴染客とてもなかつた、打算深い彼の女は財產家で消防組頭で男振のいゝ三拍子揃つた武に旦那欲しさの水を向けたものと見ね間もなく二人の戀は白熱化して行つた、されど武は親掛かりであつた料亭すしやには三百餘圓の借財が募り箱止めにされ其他の

料理 屋にも借金はふえる、女への戀情は益々增して行く、馴染んで僅三ケ月早くも身受けの相談をなしたが仲々金の工面は出來なかつた、彼は屢々自動車を驅つて藝妓を乘せ自宅をさる十數町の勿來町窪田料亭いせ屋に至り幾度か山林を賣る相談をなした。（つゞく）

活氣が深つてゐる結果ではなからうかと觀られてゐる

內郷の賭博

一網五人逮捕

內郷村大字白水字廣畑居住富山縣富山市船渡町生れ磐城炭礦坑夫梅原金作(四六)內郷村大字綴村生れ渡邊政一(三六)茨城縣東茨城郡堀村生れ內郷廣畑居住大工鈴木松三郎(四九)茨城縣那珂郡瓜連生れ渡邊秀次郎(四二)石川縣金津市本町二番町生れ內郷廣畑居住坑夫淺村初太郎(二四)久之濱町生れ坑夫春島七之助(三五)の六名は十四日午後九時頃內郷村白水字廣畑高原孫次郎方裏座敷で車座となり現金賭の花合賭博中同村駐在七海部長小林巡査の兩警官が現場に踏込んで一網打盡檢擧された

御用直ちに平署に引致の上目下嚴重取調中であるが餘罪頗る多い見込だと

死刑か無罪か

治八郎への判決

立會檢事は死刑を求刑

成行き注目さる

疑問の殺人事件として成行を注目されてゐる內郷村鈴木治八郎(四九)に係る五人殺し事件は其の後仙臺控訴院に於いて審理中であつた旨屢報の如くであるが昨十六日午後一時から同院刑事法廷に於いて第二回公判が開かれ治八郎は第一審通り死刑を求刑されたが判決言渡しは來る五月七日午後に決したが第一審の言渡し及び檢事の求刑通り死刑を言渡されるか又無罪を言渡されるか事件の內容を知る人々の間には多大の注目を拂つてゐる

郡下農村の

婦女向上

喜ぶべき現象

石城郡地方農村の主婦は家事耕作等の仕事に携はる以外對外的思想には全く無關心で農村經營の對策等には殆んど意を用ゐず一の作業婦さして働く位にしか認めてゐられなかつたが最近これ等の舊風が漸次追ひ拂はれて農村經營の根幹とも言ふべき組合事業その他科學的農事方面に心を致してよく最も必要なる點に研究を緒ける樣自覺し來りて村內外的に舊來の農村主婦に比し著しき懸隔を示して來たので農事指導の任に當る各種團体ではその良好なる傾向を喜んでゐる

湯本驛から

白米を窃取

春吉捕はる

湯本町湯根字塚越日雇業角田春吉(五八)は去る十四日午後十一時頃同町湯本驛貨物積込ホームから白米四斗入一俵麥一斗價格約十五圓を窃取逃走し昨十六日午後十一時頃何喰ぬ顏で自宅に舞もどつて來た處を張り込ん

春に背ねて

女房縊死

病苦を悲觀

內郷村大字宮字竹之內磐城炭礦會社社宅三十三號の四居住建築係員加美山義雄內緣の妻長野縣下伊那郡飯田村生れ古井ハツ(三〇)は昨十六日午後三時半頃自宅入口の廊下の梁に兵庫帶を掛け縊死を遂げたのを程經て歸宅した義雄が發見驚いて平署に屆出で七海部長出張檢視の上屍体は夫に引渡したが自殺の原因はハツは四年前から心臟病に患り常に苦慮し極度のヒステリーに患り遂に厭世自殺を遂げたものであると

醉客の遺失物

ゴム靴片ツ方に一升ビン

底拔けの松ヶ岡

平町松ヶ岡公園の櫻は今が眞盛りと咲き誇り連日遠近よりの櫻見客萬餘を數へ文字通り天下御免の大騷ぎ—花見にはつきものゝ喧嘩や遺失、迷ひ子等も相當あり平警察署の取締官詰所で取扱つた十五日の喧嘩は四組であつたが大したこともなく說諭の上放免次ぎに迷ひ子はたつた一人これも直ぐに親が判明引渡した、また遺失物は總點十九件でこのうちには墓口、財布類のお賣入れがその大半を占めてゐるが中には一升壜詰、ゴム靴の片方もあり振るつて居るのはゐまりにへぬ羽織を忘つて行つた醉客もあつた墓口の中味は淋しいものばかりで五圓が最高であつた等から見ても矢張り不景氣は爭はれず、うした遺失物にも不景氣の反映を見せてゐた

石城蠶教總會

石城郡養蠶教師協會では十四日總會を開く豫定であつたが來る二十日と延期した

講習生を乘せて

天測航海實習

磐城丸鰹群を追ひ

小名濱を出帆

本縣には各漁船の經濟的航海並に遭難防止方法として四ツ倉江名の二ケ所において大日本水產會より日里技師を招聘して天測航海法の講習をなしたが よく〳〵鰹漁期も迫り遠洋漁業の期に這入るので此れ等受講生並に江名中ノ作四倉などの鰹船に乘込ましめ天測航海法の實施をすべく水產試驗場漁業部主任出山技手統卒の下に磐城丸乘込み十八日小名濱を出帆南航して千葉、神奈川、静岡各縣下の漁港を觀察し燒津港より更に小笠原方面に向ひ三宅島御倉島八丈島などに寄港鰹漁場の踏查をなしながら遠洋にたける天体測等の航海實習を行ひ來月二十八日頃歸港する豫定であるその模樣により縣下の鰹漁船が準備をなした上鰹群を追ふて出漁する事になる

幸運者三千圓の大懸賞

本社創業七週年記念の一事業

本社は創刊七周年に相當するので之れを記念する爲め各種意義ある記念事業を執行する事さなつたが今その一として來る可き平松ヶ岡公園の櫻花時を一層殷賑ならしめ惡疫流行その他に禍され極度に沈滯せる現下の人氣を挽回する一方策こして松ヶ岡公園の櫻花最盛の日を撰び一大懸賞の壯擧を行ふ事こなつた諸氏諸賢の御期待を乞ふ

詳細は十八日夕刊に發表

磐城新聞社

常磐各炭礦の勞務健保

協議會

けふ平町で

常磐各炭礦の勞務と健康保險組合の合同協議會は今十七日午前十時より平町住吉屋本店に於て開會事務取扱上その他について協議した

娘を藝者にしては

甘い酒が飲めぬ

女郎に賣るんださ

林家に亂入す

平町字古鍛治町雜貨商小林利三郎(五六)は昨十六日午後十一時頃泥醉して平町新田村林家專野崎滿藏方に暴れ込み辭暴を働らいたので公安を害するものとし平署に檢束一夜留置の上今十七日歸宅を許されたが利三郎が林家に暴れ込んだ理由は利三郎の娘イネ(一九)は當時菊丸と呼んで林家に抱ねられし居り藝妓にして置いたのでは甘い酒も呑めないから女郎に賣るんだと言ふので再三同家を訪れ菊丸を連れ・どろうとしてゐたもの下俺の娘を俺れが女郎に賣るのに不思議があるかと吐鳴り込んだものであると

基督教講演

平バプテストで

平町材木町バプテスト教會では十七、八の兩日毎晩七時半からキリスト教講演會を同會堂にたいて開催するが講師は左の諸氏である

水戸教會牧師中島辰藏、仙臺尚絅女學校教諭丸山□□、石岡教會牧師反口積一、巽壁教會牧師庄司惣兵衞、君賀教會牧師飯田清太郎

江名港修築補助

昭和三年度の分が

二萬九千圓交附

小名濱港に次ぐ成績良好漁港なる江名港は去る大正十四年から昭和三年度まで四ケ年繼續事業として修築したものであるが實際は一日も早く良港としての利用を圖つた爲め工事を取急いだ結果昨年中に之が完成を告げたものであるが此工事費は十二萬一千百六十五圓で縣費補助八萬四千圓であつた、此年度割補助三年度分二萬九千圓は十六日縣より指令を交付された

オリエント

平町に美容院

東京市澁谷美容學院卒業美容術師上坂武子氏並に洋結髮師近山梅子氏は今回平町字仲田町にオリエント美容院を開業したが美顏、美爪術衣裳着附、歐風結髮、洗髮その他美容術一切を行ひ料金等も極めて安價で非常に歡迎され賑はつてゐるさ

取締り巡査の

肩章を剝奪

亂暴坑夫二名

石城郡勿來町大日本炭礦請願巡査派出所に去る十五日夜炭礦公休日で酒に醉ふた坑夫鈴木弘作、樋浦政次郎の二名が喧嘩して來りその理否を爭ふので村上巡査は今日は醉ふてゐるらしいから明日來いと云ひたるを憤慨し同巡査に打つてかゝり肩章等をもぎとり亂暴したので檢束された

植田獵友射撃

植田警察署管內獵友會では十七日午前九時より上遠野村に於てクレー射撃會を開く筈

山田夫人病む

石城政友俱樂部常任幹事山田忠太郎氏夫人乙壽氏は過般風邪臥床中の處肺炎肝臟病等を併發磐城共濟病院に入院加療中である

◆新田町三好家の光惠が發起となり仲家の壽美藏、甲子桝美、谷口の喜多勇、玉川の宇佐子、吉野家の長松久本ひさごの面々が質店を初めると云ふので前人氣か素破らしそこで藝妓連中も衞後は他店へ行かず同質店を利用出來ると意氣込むでゐるが夫れよりも之れを聞いた鼻下長連が喜ぶまい事か開業の曉は夜の暮れぬうちから入れ方をすると云ふからナカ〳〵面白い◆組織の內容は合資組織で出資は前記の姐さん連各々材物出資で株主は男子に限るとの定款で目下株主募集中であるが應募者ナカ〳〵多く一株金五十圓の高値を呼ばれし居る。

登錄商標
醸造元
山崎合名會社
福島縣平町
電話 營業部一〇〇番 醸造工場二七番
振替東京一九七五五番
東京支店
上野車坂町四三
電話下谷五七二三番
振替東京六八三二三番

嶄新ノ魁
春物ノ準備ガ出來マシタ
婦人洋傘　春シヨール　子供洋服　ワイシヤツ　合着シヤツ　春中折
種々店內ニ陳列シテ有リマス
鶴屋商店
電話百四十番

土地建物賣却廣告
平町三丁目三十一、三十二番地宅地二百坪（建物共）右賣却致度候間希望者は平町三丁目組合代表小野伊佐治に御相談被下度候
平町三丁目共同組合

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
電話浪花三五一番
振替東京三一四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄 五名
小學校卒業程度御希望のた方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

父武義儀葬儀の際は御多忙中態々御會葬下され且つ過分の御香奠を賜り候段有難く御禮申上候混雜中尊名伺ひ洩れも之有る可く略儀紙上を以て御禮申上候

四月十七日

男 二口一義